

An aerial photograph of the Aichi Medical University campus. The image shows several large, modern academic buildings with glass facades and flat roofs. There are extensive parking lots filled with cars, green lawns, and a large body of water in the lower right corner. The surrounding area includes residential houses and other urban buildings.

平成30年度 予算の概要 参考資料



学校法人愛知医科大学

平成30年度予算について (1/3)

<はじめに>

新病院効果

- 外来患者数が2,700人/日を超える
- 旧病院時代の8年前と比べ(H21⇒H29上半期), 手術件数は約1.4倍, 2万点以上の手術件数は約2.2倍

医療変革期の医科系大学

- 働き方改革
- 医療安全や医療倫理の強化
- 地域包括ケアシステムの構築
- 初期臨床研修や専門医制度の改革
- 医学教育分野別評価で示される国際基準を踏まえた医学教育改革
- 特定機能病院に対するガバメントの強化



平成30年度予算について (2/3)

平成30年度予算編成方針

- 新病院を中心としたインフラ整備は、平成29年度をもって完成。発展に向けた舞台が整う。
- インフラ整備は福祉医療機構等からの借入金を活用。相当額の償還が当分続く。
- 本学歳入の大きなウェートを占める医療収入が国の制度改革の影響を大きく受ける仕組みとなっている。
- 国の動向を注視しつつ、目下の課題を解決し、手を緩めることなく本学の財政基盤の強化を推進していく必要がある。
- 学是「**具眼考究**」の具体的実践

平成30年度予算について (3/3)

平成30年度予算編成方針

- 資金収支予算ベースでは、経済変動の影響を柔軟に受け止め、いざというときの瞬発力となる繰越支払資金の具体的な目標額を40億円とする。
- 事業活動収支予算ベースでは特殊要素を除き、黒字予算5億円以上の確保を図る。



事業計画の概況（1/6）

- ▶ 平成30年度予算編成方針を基に，特に重点的に取り組む事業は以下の通りです。

教育について（医学部）

- 大学教育の質の向上を図り，優秀な人材を確保する取り組み
 - 双方向教育の実践
 - 生涯学習能力や情報活用能力の獲得
 - ICT利用教育の推進
- 医学教育分野別認証の受審に向けた取り組み
- 臨床実習を二つに分け，学内のみならず学外研修病院においてもきちんと評価できる臨床実習を実施
- アクティブラーニングを積極的に導入し，学生が自ら学ぶ姿勢を身に付ける工夫



事業計画の概況（2/6）

教育について（看護学部）

- 長久手高等学校との高大連携協定
 - 長久手高校で「医療・看護コース」の授業を看護学部教員が行い、高校生に看護の魅力を伝え、主体的な職業選択を支援。
- GPA（グレート・ポイント・アベレージ）制度を導入
 - 学習状況の把握，支援のため，各自の得点が半期ごとにアドバイザー教員から渡される成績通知書内に記載される。
- タイ王国マハサラカム大学との学術交流協定の締結に基づく留学生の受入れ，派遣



事業計画の概況 (3/6)

研究について

- Jump up作戦の継続
 - 科学研究費計画調書の作成方法や採択のポイント等のノウハウが不足する研究者を研究活動実績のある者がサポート
- 申請件数(募集年度ベース) H28:128件 H29:182件 H30: 227件
- 研究ユニット創出支援事業の継続
 - 基礎と臨床がコラボしながら若手研究者を育成
 - バイオバンクの充実



事業計画の概況（4/6）

診療について①

- 診療科への人員配置の偏在解消
 - 診療科ごとの配置数と医療収入，教育の負担等を合理的に評価し，全体最適に努める。
- 臨床教員定数の中央化の検討
 - 人材を流動的に配置していけるようにする。
- 病院の活力の源である医員助教の最適配置



事業計画の概況（5/6）

診療について②

- 高度医療を要する患者の一層の確保。特に手術室, ICU系病室のフル稼働。
- 医療職員を増員し, 医師の働き方改革の方針も視野に入れて, チーム医療の推進, 診療看護師の活動範囲の拡大等。
- 日本専門医機構の専門医制度に対応した基幹病院としての体制整備



事業計画の概況（6/6）

関連病院の整備

- ・ 地域医療連携として、医師の在籍出向制度を活用し、引き続き関連病院を整備。5, 6学年次の実習先の質の確保にもつながる。



開かれた大学づくり

- ・ 長久手市民の「包括的な先進医療システム」を確立する。
- ・ 公開講座開催（長久手市，尾張旭市，名古屋市に加えて瀬戸市でも開催）。

財政基盤の強化

- ・ 消費税10%，電子カルテのリプレイス，新病院に整備した先進医療機器の更新，借入金の償還。

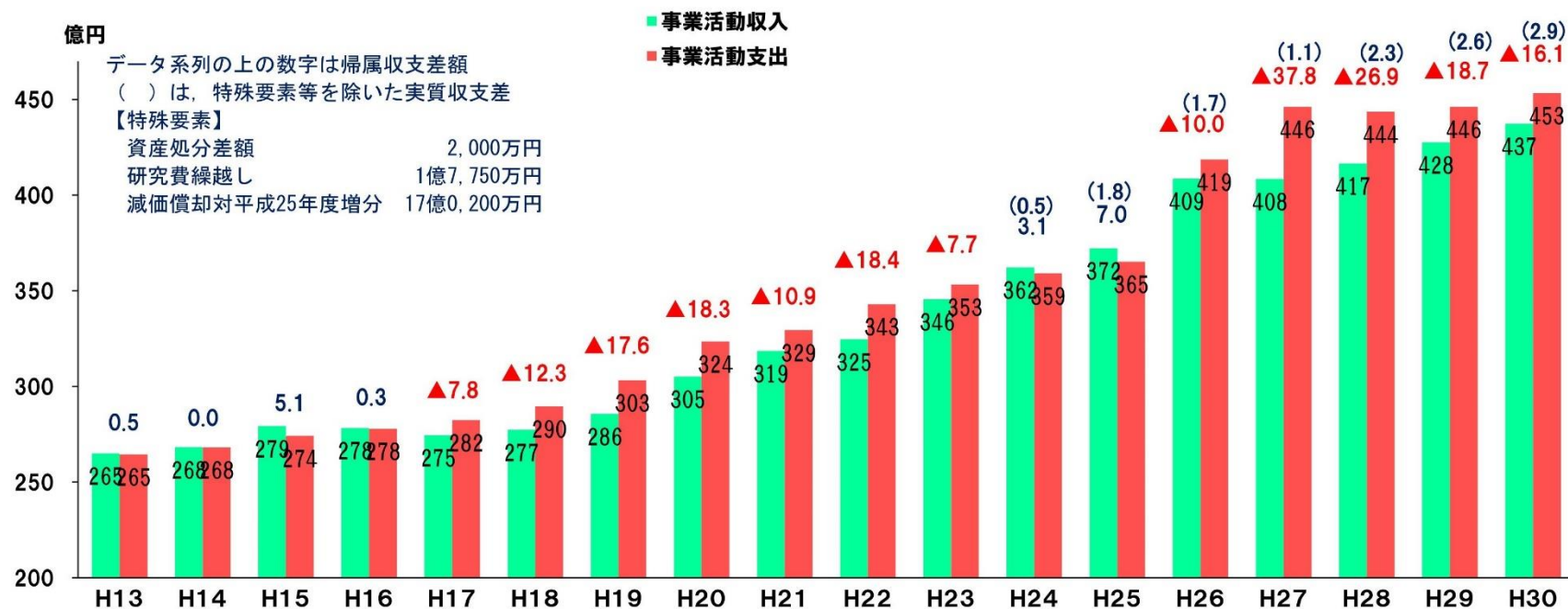
予算規模の推移

平成30年度の予算状況は、

事業活動収入 437億3,276万余円

事業活動支出 453億3,779万余円

となっており、事業活動収支差額は16億0,503万余円の支出超過となり赤字となっていますが、特殊要素等を除いた実質の収支額は2億9,447万円の黒字予算となっています。



※ 過年度の予算額は年度当初予算額である。

教育・研究に関する重点事業

(1) 学力強化，国試対策に向けた取り組み

特別カリキュラムの実施

- 医学部において，平成30年度入学生から，すべての学年次において進級認定することに変更されるため，進級を認定されなかった者に対して，特別カリキュラムを実施する。

4学年次：基礎学力強化及びCBT対策プログラム（27,800千円）

5学年次：医師国家試験対策プログラム（8,978千円）



医師国家試験対策システムの改修

- 医師国家試験対策システムを改修し，問題登録ミスの削減，問題登録時の確認作業の効率化及び問題の意図に対する学生の理解度の向上を図る。
（1,610千円）

教育・研究に関する重点事業

(2) 研究活動の活性化

研究ブランディング事業

- ・ 長久手市民の「包括的な先制医療支援システム」を確立することを目的とし、長久手市との連携事業を推進し、少子高齢化に歯止めをかけ、労働人口の維持と医療費削減に繋がる「未来の地域医療の画期的成功例」を提示する。長久手市とのコラボレーションによる研究ブランディング事業の採択を目指す。(66,966千円)

研究創出支援センターにおけるテクニシャンの配置

- ・ バイオバンクの本格稼働など新規に開始していく事業を控え、体制を強化するために研究助手(テクニシャン)を増員する。(5,065千円)



教育・研究に関する重点事業

(3) 教育・研究環境を再生・整備①

大学本館講義室における老朽化機器等の更新

- ・大学本館講義室における老朽化機器等(机・椅子更新, 黒板のホワイトボードへの加工)の更新を行う。(4,666千円)



大学本館講義室等における講義録画システムの構築

- ・大学本館講義室等に録画システムを導入し, 講義, OSCE実施内容等を収録し, 各内容の振返りや評価に役立てることで教育の質的向上を図る。(6,000千円)

大学本館7階711特別講義室へのAV機器の設置

- ・大学本館711特別講義室にAV機器等の設備が無く, その都度プロジェクタ, マイク等のAV機器を準備・設置する必要があるため, AV機器を整備する。(4,696千円)

基礎科学実験室・基礎科学・基礎医学実習室備品整備

- ・基礎科学系の3か所, 基礎医学系5か所の実験実習室が昭和40年代の備品であり, 老朽化が進んでいるため順次整備する。H30年度は科学, 生物学実験室 実験台更新 4年間15,936千円, 4年目。(4,665千円)

教育・研究に関する重点事業

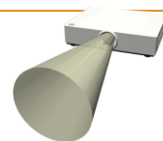
(3) 教育・研究環境を再生・整備②

シミュレーションセンターへのAVシステムの導入

- ・講義等を実施する際、シミュレーションセンターにAV装置が設置されておらず、使用の都度、映像機器と音響機器を用途に応じて事前の準備、片づけを行う必要があるため、これを解消する。(4,320千円)

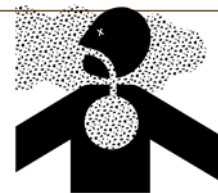
多目的ホール1, 3のプロジェクタの更新

- ・老朽化が目立つ医心館の多目的ホール1, 3のプロジェクタを更新する。(999千円)



遺体防腐処置中のホルムアルデヒド暴露低減システムの導入

- ・解剖実習室を改修し、遺体防腐処置中のホルムアルデヒド暴露低減システムを導入する。(33,340千円)



医学部学務情報システムの再構築

- ・学生の学籍管理, 履修管理, 成績管理などを一括管理する医学部学務情報システムを再構築し, 現行システムが抱える問題点を改善し, 学生及び教職員の利便性の向上を図る。(18,792千円)

教育・研究に関する重点事業

(4) 医学教育の国際標準化に向けた取組み

国際認証に備えた臨床実習の充実

- 医学教育国際認証評価の受審に向け、臨床実習の充実化及び質的向上を図るため、5～6学年次開講のクリニカルクラークシップ2(臨床参加型実習)を学外協定施設でも実施する。(平成27年度から実施の継続事業)。(17,296千円)

日本医学教育評価機構(JACME)

- 正会員としての年会費を支出する。
平成31年度に受審予定。(1,001千円)



教育・研究に関する重点事業

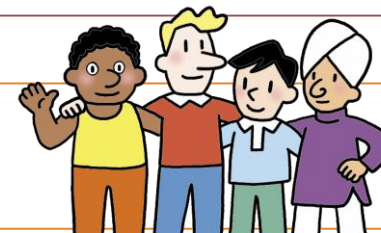
(5) その他

学内公募による教育改革事業

- ・ 教育改革につながる事業について、年度中臨機に対応できるよう、学長裁量費を予算化する。(10,000千円)

国際交流推進引当特定資産を財源とする事業

- ・ 外国人研究者に対する滞在費助成(9,123千円)



教育研究活性化引当特定資産を財源とする事業

- ・ 医学部若手研究者に対する教育研究奨励助成(6,000千円)
- ・ 看護学部若手研究者に対する研究助成(1,500千円)

総合医学研究機構研究基盤設備再生事業

- ・ 補助金交付を条件に、総合医学研究機構の老朽化した設備の更新を予算化。(76,151千円)

医療に関する重点事業

(1) 教員・スタッフの増員

病院長枠助教2名分増員

- ・ 診療体制を充実させ、増患、増収を図るため、病院長枠で助教2名分の増員を図る。(21,142千円)

歯科衛生士を増員する

- ・ 入院患者全ての口腔管理に関与し、口腔内リスクに対するアセスメントから口腔ケアまでを一貫して実施する第一歩として、麻酔科周術期センターにおける全身麻酔患者への口腔内スクリーニングを実施するため、歯科衛生士を増員する。(4,294千円)



医療に関する重点事業

(2) スタッフの増員

看護補助員の補充

- ・ 看護補助員の定年退職に伴い、増加する外来患者の診療に支障をきたさないよう将来検討を加えつつ、期間を限定して委託看護補助者を補充。(5,638千円)



作業療法士を増員する

- ・ リハビリテーション実施単位数を増加して早期の回復と入院期間の短縮を実現するため、作業療法士3名の増員を図る。(12,882千円)

診療放射線技師を増員する

- ・ 4台目の血管撮影装置の稼働、救命救急センターのMRI、近年に増設した放射線装置の稼働率の向上を図るため、診療放射線技師の増員を図る。(12,882千円)

医療に関する重点事業

(3) 診療用機器の整備

放射線機器等の更新



- 旧病院から移設した放射線機器等が更新時期を迎えたことから、安定した運用を図り、大学病院として高度な医療を提供するため、最新機器を導入する。

内視鏡検査部門システム, CTシミュレータ, X線透視装置, 頭部用X線CT装置の更新(4点合わせて200,000千円)

セキュリティ向上対策



- メール機能のセキュリティ対策を行うことで、電子カルテシステムに対するサイバー攻撃の脅威を減らし、安全性を高める。(22,680千円)

医療に関する重点事業

(4) 大学院学生奨学金の貸与

大学院学生(NP)奨学金制度の貸与

- 本院の看護師で本学大学院看護学研究科(高度実践)に進学し、修了後に引き続き本院に診療看護師として勤務する者に奨学金(月額20万円)を貸与する。(2,400千円)

医療に関する重点事業

(5) 継続事業

先進医療推進事業

- ・病院の基本方針のひとつである「先進的医療技術の開発・導入・実践の推進」に従い、先進医療が認められるための実績づくりに必要な経費を予算化する。(16,487千円)

病院広報事業の強化

- ・アピールポイントを積極的に对外発信することで、ブランドアップに努める。(8,632千円)

メディカルクリニック広報事業の強化

- ・7診療科の診療を毎日行っていることなどの新体制を周知し、新たな患者の獲得並びに外来患者数の増加を図る。(3,108千円)

法人・大学運営に関する重点事業

(1) 学生募集関係

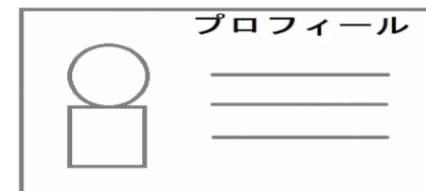


学部紹介動画の作成

- 各学部を紹介する動画を作成し、各種イベント、ホームページ等様々な場面で活用し、優秀な学生の確保に繋げる。(1,810千円)

資料請求者一元管理データベースシステム

- 資料請求者を始めとする大学への接触者の管理から高等学校や予備校への広報活動までを一元管理し、学生募集活動を効率化させるための総合データベースアプリケーションを導入する。(1,080千円)



法人・大学運営に関する重点事業

(2) 職員研修の充実



教授向けSDの実施（大学基準協会等の評価
に対応）（360千円）

管理監督職のパフォーマンス向上を目的とした
合宿型研修，経営人材の育成（1,523千円）

特定の資格に対する戦略的な取得支援（診療
情報管理士，ITパスポート）（440千円）

法人・大学運営に関する重点事業

(3) ドクターヘリ格納庫運用～キャンパス再整備完了～記念式典



新病院建設を中心とするキャンパス再整備事業の総仕上げとして、平成29年度にドクターヘリ格納庫を整備しました。その供用を開始するにあたり記念式典を平成30年4月30日(月・祝)に開催します。(9,271千円)

 **Doctor-Heli**



愛知医科大学病院

AICHI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

 **Doctor-Heli**

法人・大学運営に関する重点事業

(4) 立石池外周道路（第2期）拡幅事業

道路拡 幅工事

重要なアクセス道
路である立石池外
周道路を拡幅する。
(87,145千円)

第1期事業

第2期事業

凡例	
△	建築物の位置
■	コンクリート道
□	アスファルト道
○	水路・排水路
◇	公園・緑地
▽	高圧電線
○	界址線・地籍

業務委託名	大学キャンパス配置図 地図の作成業務委託
施工箇所	長久手市岩作地内
図面の種類	大学キャンパス配置図
縮尺	1:4,000
図面番号	全葉の内号



